

第101回

全国高校野球
選手権大会

選手権大会

光星きよう海星戦

「細かい野球」を警戒



光星 仲井監督

全国高校野球選手権で5年ぶりに夏2勝を挙げた本県代表の八学光星は16日、午後3時半開始予定の3回戦で、長崎代表の海星と激突する。台風の影響で1日遅れの対戦となった両校。光星の仲井宗基監督と、海星の加藤慶二監督が15日までに大阪府内で取材に応じ、相手校の印象や鍵となる選手について語った。

相手校の印象は。仲井監督 派手さはないが堅実に守るチーム。セーフティバントや盗塁など「細かい野球」に翻弄（ほんろう）されないうようにしたい。

加藤監督 高校生離れ

したスケールの大きい選手ばかり。甲子園での2試合を見て、正直うちが勝っているところは一つもないと感じた。

仲井監督 県大会から引き続き、打撃は好調をキープできている。

加藤監督 体のキレは良くないが、メンタルはすごく充実している。

鍵になる選手は。

仲井監督 投手の柴田君の動く直球に気を付けたい。以前中軸だった大串君も初戦で本塁打を打っており、注意が必要。

加藤監督 全員。（気を抜ける選手は1人もいない。）

警戒する選手は。

仲井監督 投手の柴田君の動く直球に気を付けたい。以前中軸だった大串君も初戦で本塁打を打っており、注意が必要。

加藤監督 全員。（気を抜ける選手は1人もいない。）

仲井監督 主将武岡にチームを引っ張ってほしい。最近調子を落ととしている4番原の復調も鍵。

加藤監督 投手江越の投球がはまれば、ある程度抑えられる。一番いい球をばしばしコーナーに決めてほしい。

勝敗のポイントは。仲井監督 途中で諦めたり気を抜いたりしなければいいゲームができる。

加藤監督 バッテリーが失点を極力抑え、崩れないようにしたい。

仲井監督 意気込みを。仲井監督 どんな形であれ、勝つことを目標に頑張りたい。

加藤監督 当たって碎けるイメージで、やってきたことをぶつける。（大久保拓地、吉田希望）